



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月23日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7739 URL <http://www.canon-elec.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒巻 久
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 平成25年8月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	48,803	△8.8	5,414	0.3	6,105	5.4	4,335	20.7
24年12月期第2四半期	53,509	3.4	5,400	12.7	5,794	14.9	3,592	24.1

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 4,897百万円(35.6%) 24年12月期第2四半期 3,613百万円(20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	104 22	—
24年12月期第2四半期	85 18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	95,826	71,842	74.7
24年12月期	91,061	68,202	74.6

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 71,569百万円 24年12月期 67,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	30 00	—	30 00	60 00
25年12月期	—	30 00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 なお、平成25年12月期の1株当たり期末配当金については未定です。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	5.3	12,000	36.0	12,000	12.6	7,200	15.9	171 13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	42,206,540株	24年12月期	42,206,540株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	606,339株	24年12月期	605,832株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	41,600,455株	24年12月期2Q	42,173,172株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

平成25年12月期の1株あたり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えた上で公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)の世界情勢は、米国では住宅市場が回復し、欧州では景気に一部下げ止まりの兆しが見られる等、全体としては緩やかに回復しています。国内経済は、金融政策や経済対策の効果、輸出環境の改善などを背景に、景気は着実に持ち直しています。為替は、前期と比べ米ドル、ユーロともに円安傾向で推移しました。

当社グループ関連市場は、デジタルカメラ市場は、レンズ交換式デジタルカメラタイプは堅調に推移しました。一方、コンパクトデジタルカメラタイプは縮小傾向にありました。ドキュメントスキャナー市場は、低価格・コンパクトタイプを中心に市場が拡大しました。

このような中で当社グループは、世界トップレベルの高収益企業を目指し、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。さらに、全社を挙げた生産性向上活動、3R(リデュース・リユース・リサイクル)環境活動を全社員で強力に推し進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は488億3百万円(前年同期比8.8%減)、連結営業利益は54億14万円(前年同期比0.3%増)、連結四半期純利益は43億35百万円(前年同期比20.7%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①コンポーネント

当セグメントにおきましては、レンズ交換式デジタルカメラ関連製品について、市場が伸びている中で、防振ユニットおよび交換レンズ用絞りユニットは堅調に推移しました。一方、コンパクトデジタルカメラ用シャッターユニットおよびビデオカメラ用絞りユニットは、スマートフォンの普及等による市場縮小の影響を受け、売上は減少しました。レーザープリンターおよびデジタル複合機用のレーザーユニットは、売上を伸ばしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は263億83百万円(前年同期比10.7%減)営業利益は34億66百万円(前年同期比6.8%減)となりました。

②電子情報機器

当セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーは、高速スキャン機能の新製品「DR-G1130」を発売し、コンパクトタイプの「DR-M140/M160」と共に積極的な拡販活動を展開し、コンパクトタイプ、中級機タイプを中心に売上を伸ばしました。ハンディターミナルは、大画面モバイル情報端末「プレアDX-360」、通話や高速大容量データの送受信が可能な「AT-100」等のラインアップによる拡販活動の結果、売上を伸ばしました。レーザープリンターは、販売数量が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は170億22百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益は25億10百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、企業の情報資産を守る新製品セキュリティソフト「SMLセキュリティスイート」の拡販を行いました。また、システム開発案件の獲得に努めるとともに、金融機関向け、医療機関向け等のパッケージソフトウェアの販売にも注力しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は53億97百万円(前年同期比0.9%増)、営業損失は32百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は958億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億64百万円増加しました。流動資産は564億53百万円となり、45億49百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものです。固定資産は393億73百万円となり、2億15百万円増加しました。うち有形固定資産は350億56百万円となり、7億81百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は239億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加しました。流動負債は214億24百万円となり、14億4百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、未払法人税等の増加によるものです。固定負債は25億60百万円となり、2億79百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は718億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億39百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益計上と剰余金の配当によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の74.6%から74.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間においては、主に税金等調整前四半期純利益と減価償却費により、営業キャッシュ・フローは58億60百万円の収入（前年同期比9億60百万円増）となりました。また、投資キャッシュ・フローは新製品投資及び生産能力増強のための設備投資、投資有価証券の売却による収入により17億7百万円の支出（前年同期比4億39百万円減）となりました。フリーキャッシュ・フローは41億52百万円の収入（前年同期比13億99百万円増）となりました。一方、財務キャッシュ・フローは配当金の支払等により12億46百万円の支出（前年同期比13百万円増）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は314億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億14百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しにつきましては、平成25年1月28日に公表いたしました連結業績予想に変更ありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(連結売上高1,110億円、連結営業利益120億円、連結経常利益120億円、連結当期純利益72億円)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当社は、永年勤続の従業員に対する慰労金の支出に備えるため、内規に基づく支給見込額を「永年勤続慰労引当金」として計上していましたが、リフレッシュ休暇制度の廃止に伴い、「永年勤続慰労引当金」を第1四半期連結会計期間において全額取り崩しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,489	31,412
受取手形及び売掛金	16,879	17,412
リース投資資産	204	170
商品及び製品	1,570	1,758
仕掛品	2,875	3,362
原材料及び貯蔵品	135	109
繰延税金資産	428	511
その他	1,325	1,723
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	51,903	56,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,844	14,679
機械装置及び運搬具(純額)	2,204	2,091
工具、器具及び備品(純額)	3,163	3,503
土地	13,696	13,784
建設仮勘定	366	997
有形固定資産合計	34,275	35,056
無形固定資産		
のれん	185	92
その他	841	875
無形固定資産合計	1,026	967
投資その他の資産		
投資有価証券	1,403	1,019
繰延税金資産	1,587	1,408
その他	865	921
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	3,855	3,348
固定資産合計	39,157	39,373
資産合計	91,061	95,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,576	15,542
リース債務	75	75
未払費用	1,448	1,275
未払法人税等	1,702	2,488
賞与引当金	352	404
役員賞与引当金	50	28
受注損失引当金	45	28
その他	1,766	1,581
流動負債合計	20,019	21,424
固定負債		
退職給付引当金	2,255	2,163
役員退職慰労引当金	371	252
繰延税金負債	48	53
その他	164	90
固定負債合計	2,839	2,560
負債合計	22,858	23,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	54,808	57,896
自己株式	△1,070	△1,071
株主資本合計	68,302	71,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	99
為替換算調整勘定	△464	81
その他の包括利益累計額合計	△375	180
新株予約権	235	225
少数株主持分	40	47
純資産合計	68,202	71,842
負債純資産合計	91,061	95,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	53,509	48,803
売上原価	42,972	38,132
売上総利益	10,536	10,670
販売費及び一般管理費	5,136	5,256
営業利益	5,400	5,414
営業外収益		
為替差益	298	562
その他	98	130
営業外収益合計	397	693
営業外費用		
支払利息	1	—
その他	2	1
営業外費用合計	3	1
経常利益	5,794	6,105
特別利益		
投資有価証券売却益	33	675
その他	9	49
特別利益合計	42	724
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
投資有価証券評価損	199	—
特別損失合計	201	1
税金等調整前四半期純利益	5,635	6,829
法人税、住民税及び事業税	2,079	2,405
法人税等調整額	△40	80
法人税等合計	2,039	2,486
少数株主損益調整前四半期純利益	3,596	4,342
少数株主利益	4	6
四半期純利益	3,592	4,335

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,596	4,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	9
為替換算調整勘定	44	545
その他の包括利益合計	16	555
四半期包括利益	3,613	4,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,609	4,891
少数株主に係る四半期包括利益	4	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,635	6,829
減価償却費	1,541	2,059
のれん償却額	92	92
賞与引当金の増減額 (△は減少)	38	51
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	△22
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△3	△17
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△41	△92
支払利息	1	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	165	△675
売上債権の増減額 (△は増加)	△526	△391
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△160	△648
仕入債務の増減額 (△は減少)	69	682
その他	454	△410
小計	7,239	7,456
利息及び配当金の受取額	26	26
利息の支払額	△1	—
法人税等の支払額	△2,364	△1,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,900	5,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,183	△2,655
有形固定資産の売却による収入	8	2
無形固定資産の取得による支出	△5	△42
投資有価証券の取得による支出	△99	△69
投資有価証券の売却による収入	134	1,139
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	1	0
その他	△3	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,147	△1,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,262	△1,245
その他	28	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,233	△1,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,486	2,922
現金及び現金同等物の期首残高	26,411	28,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,897	31,412

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	29,552	18,604	48,157	5,351	53,509	—	53,509
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	42	448	490	99	590	△590	—
計	29,595	19,052	48,648	5,451	54,099	△590	53,509
セグメント利益 又は損失 (△)	3,718	2,205	5,924	△162	5,761	△360	5,400

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売
ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	26,383	17,022	43,406	5,397	48,803	—	48,803
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	30	416	447	130	578	△578	—
計	26,414	17,439	43,853	5,528	49,381	△578	48,803
セグメント利益 又は損失 (△)	3,466	2,510	5,976	△32	5,943	△529	5,414

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売
ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。